

日本語と簡体字の混植に対応した卒論梗概テンプレート

Thesis Template Supporting Mixed Japanese and Simplified Chinese Text

99FI999 電大 未来子
Mikiko Dendai

指導教員 未来 太郎
Taro Mirai

1 はじめに

本稿では、Lua^{La}T_EXを用いた多言語混在文書の作成手法について述べる。これは本文の日本語(MS明朝10pt)のテストである。句読点は全角の「，」「。」を用いる。

英語のテスト。This is the main text in Times New Roman(10pt)。

2 簡体字の表示について

従来のp^{La}T_EX環境では困難であった簡体字の直接記述を、Lua^{TeX}-jaの機能を用いて実現した。

- 日本語の骨：骨 (MS明朝)
- 簡体字の骨：骨 (FandolSong, Scale 0.93)

文章中の混在テスト：中国語的测试。这里使用了FandolSong字体，并且调整了大小以匹配日文字体。このように、違和感なく混植が可能である。

3 体裁の確認

3.1 フォント設定

表1に、指定されたフォント設定を示す。章題はMSゴシック12pt、節題はMSゴシック10ptで設定されている。

表1: フォント設定の確認

項目	和文フォント	欧文フォント
表題	MSゴシック	Times New Roman (Bold)
本文	MS明朝	Times New Roman
簡体字	宋体(SongTi)	-

3.2 図表の配置

図表のキャプションはMS明朝10ptとし、1行の場合は中央揃えとなる設定を適用している。

4 まとめ

本テンプレートはあくまで非公式であることに注意し、使用に際しては自己責任で行うこと。VScode以外のエディタでは、動作確認を行っていないため、適宜調整が必要となる可能性がある。また、最低限のパッケージのみを導入しているため、必要に応じて追加のパッケージを導入することが望ましい。

参考文献

- [1] 著者名，“表題,” 雑誌名, vol.1, no.1, pp.1-8, 2024.